

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	特別養護老人ホーム 葵の園・起	
建設地	西区 内野西三丁目3929番地	
用途地域	第1種中高層住居専	
建物用途	病院,	
竣工年	2013年9月 予定	
敷地面積	7,998.18 m ²	
建築面積	2,676.71 m ²	
延床面積	5,739.36 m ²	
階数	地上3F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2013年1月18日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{51}{45} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.1		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.9		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.8
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	2.0		建物の熱負荷抑制	1.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	1.0
			再利用可能性向上	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	4.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

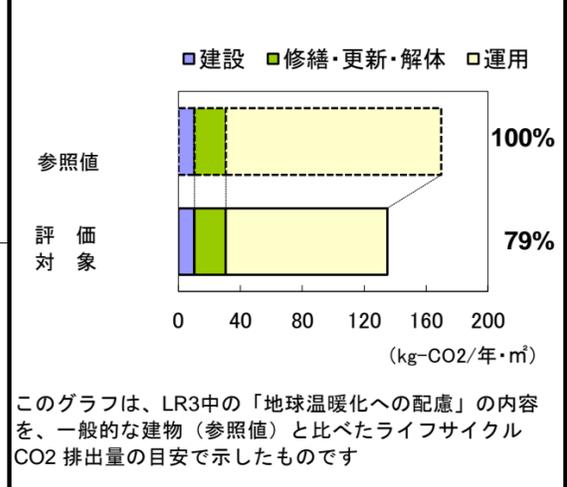
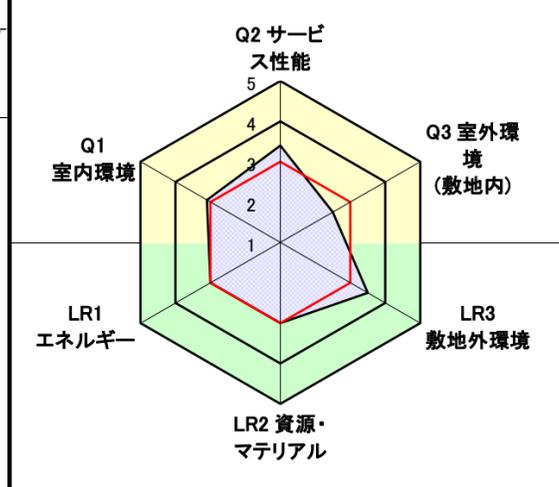
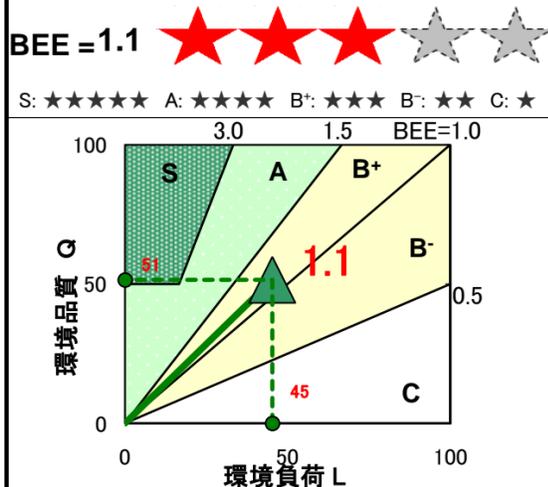
水資源保護の観点から、自動水栓に加えて省水型機器(節水型便器等)を採用する。
 非再生資源使用量削減のため、部材の再利用可能性向上に努める。
 地域交流スペース・ホールを設けることにより、地域の活動やにぎわいに貢献している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

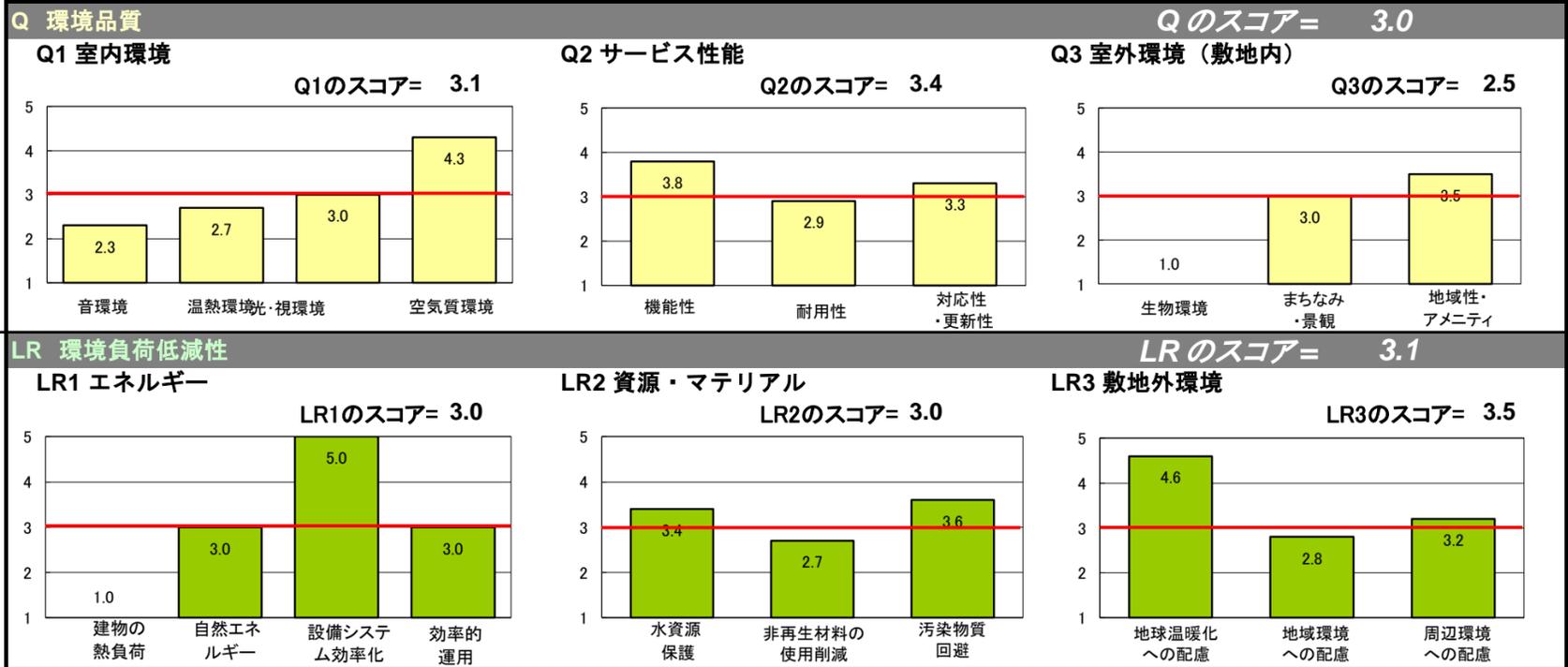
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 | 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.3)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 大項目の評価(レーダーチャート) 2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 特になし	その他 特になし
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建材及びVOC放散量の少ない材料をほぼ全面的に採用する。 空気質を高めるため、法定量の1.4倍または1.2倍以上の換気量確保、自然換気有効開口面積を居室床面積の1/15	Q2 サービス性能 耐用性・信頼性向上のため、空調・給排水配管の長寿命化に配慮する。 また、空間のゆとりの確保による対応性の向上、配線の更新性の向上に努める。
LR1 エネルギー 高効率機器の採用等により省エネルギーに配慮する。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護の観点から、自動水栓に加えて省水型機器(節水型便器等)を採用する。 非再生資源使用量削減のため、部材の再利用可能性向上に努める。 有害物質含有材料の使用抑制のため、ノンフロン断熱材を
	Q3 室外環境(敷地内) 地域交流スペース・ホールを設けることにより、地域の活動やにぎわいに貢献している。 また、敷地周辺及び建物周辺に植栽を設けることにより、良好な景観形成に努める。
	LR3 敷地外環境 高効率機器の積極的な採用によりLCCO ₂ 排出量削減に努める。 光害の抑制に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される